

臨床研究に関する公開情報

2024年10月16日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名	兵庫県立尼崎総合医療センターにおける HFrEF 患者に対する薬物療法の実態調査：後視的コホート研究
対 象	2023年10月～2024年5月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて心不全治療目的に入院された患者さん
研究期間	承認日から2025年1月26日までを予定しています。
研究目的	左室区出率の低下した心不全(以下、HFrEF)治療では、予後改善薬(RAS阻害薬、β遮断薬、MRA、SGLT2阻害薬)を早期から導入することで、生命予後を伸ばし心不全入院を減らすことが報告されています。しかし、様々な患者背景により、予後改善薬4剤の併用が困難となる患者が多いのが現状です。また、2024年度診療報酬改定で、保険薬局に対する調剤後薬剤管理指導加算の対象が慢性心不全患者に拡大し、医療機関と薬局が連携して治療薬の適正使用を推進することが求められています。そのため、本研究では、当院でのHFrEF患者に対する予後改善薬の導入状況について実態調査を行い、現状を分析することで保険薬局との連携強化に向けた取り組みを検討します。
利用又は提供を開始する予定日	承認日以降に試料・情報の利用・提供を開始します。
方 法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、血圧、血液所見、心不全治療薬の導入状況と中止となった理由等があります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析

対象から除外します。

問い合わせ先 兵庫県立尼崎総合医療センター 薬剤部
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77
TEL： 06-6480-7000 FAX： 06-6480-7001
研究責任者：薬剤部 中瀬 友梨香